

人が集まる講座・イベントの作り方

～地域活動の担い手を増やすために～

講座・イベントプランナー 講座企画塾 吉田清彦

2012年12月15日(土)

於：川西市中央公民館

1. 人が集まる講座・イベントの作り方

- ・「マーケティング発想」「ターゲット発想」
- ・受講者・参加者の側に立って考える
- ・「教える」から「一緒に考える」へ

2. 「クイズ 直観チラシ比べ」(資料③④) から学ぶ集客の秘訣

- ・「切実課題」を考える
- ・加点ポイント、減点ポイント

3. 地域活動の担い手を増やすために

- (1) これからは「地域力」「自治力」「住民力」
- (2) 「現場で考える」& 「当事者を中心に考える」
- (3) 「多数決」から「ダイバーシティ」(多様性) へ
- (4) 「正しい」と「楽しい」は一字違いで大違い
 - ・世代ごとの「公・私」観の変容
 - ・「楽しみながら、息長く」(1984年、コマーシャルの中の男女役割を問い直す会)
 - ・1995年阪神・淡路大震災はボランティア元年
 - ・スポーツゴミ拾い
 - ・「ちょボラ」
- (5) 「世代交代」→「世代継承」「世代融合」
 - ・「地縁・血縁」から「知縁・結縁」社会に
地域組織(婦人会など)の高齢化による解散(cf. 1990年代後半 京都府連合婦人会)
→強制加入型の地縁組織から出入り自由の「ネットワーク型組織」に
(移行期には共存・並立・競合など)
 - ・代表複数制・共同代表制(性別・世代ごとの複数人の代表で構成する)
cf. 日本女性会議 1998 あまがさき
 - ・代表輪番制(全員がもちまわりで代表を務める)
cf. とよなか粋遊会

4. 「チラシの手直し before・after 事例」(資料⑤⑥⑦⑧) から学ぶ言葉の使い方